



### つばみ保育園年報 第14号

2011年(平成23年)7月 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 つばみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24

[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780

[E-mail] tsubomi@nifty.com

[HP] http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/

社会福祉法人は自ら行う福祉事業の内容を広く地域に公開・発信する責務を負っています。その意味で「つばみ保育園」では以前から年報を出してまいりましたが、今年から「さわらび保育園」と「新宮つばみ保育園」の両園でも発刊することになりました。社会資源としての保育園の情報をご覧いただき今後ともご支援ご協力をよろしくお願い致します。

大槌保育園八木沢園長によると、地震発生時は昼寝が終ったばかり。園児約百人はパジャマのまま防災ずきんをかぶり外に。向かったのは小高い丘にある独自の避難場所と決めていたコンビニ。八木沢さんはコンビニ店内で、迎えに来た親に園児のうち約七十人を引き渡し、外を見た。「家の屋根をたくさ

るような急斜面。でも登るしかない。八木沢さんら保育士二十一人と、さらにスーパードイツの男女が手分けして園児をおんぶし、斜面に張り付くように四つんばいになって、切り株や木に手をかけて登り始めた。上へ、上へ。必死だった。登りながら振り返った。大槌湾から押し寄せる波が、コンビニと園舎、指定避難所の空き地に向かう道路をのみこんでいった。山頂は雪。眼下で火事も起きていた。山頂まで何分かかったか覚えていない。...

多くの保育園があり、無事に子どもたちを親元に帰したということに心から敬意を表し、同じく保育にたずさわるものとして誇りに思っています。私も日頃の避難訓練は欠かさず実施しています。が、更に多様な緊急時の具像を想定し真剣に取り組んで行かなければならないと思っています。

## 園児を背に必死の避難

岩手県大槌町の保育士ら、急斜面登り園児30名を救う

理事長 / 統括園長 大浦 純平

三月の大震災で多くの方々が亡くなり、甚大な被害を受けられたことに心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、早期の復興を遂げられ、一刻も早く幸せな日常を取り戻されることを心からお祈り致します。

保護者の皆様からも義捐金を募り、多くの協力をいただきました。保育団体を通じ被災を受けた保育園に直接支援を行うことができている。ありがたいと思っています。そのような不幸の状況下で、私もはどうしても志を同じにする認可保育園のことが気になります。五〇に近い保育園が全壊に近い被害を受けたとの情報がありませんが、その全容は未だ判らない状況です。

「あそこまで引き渡さなければ、あの子は助かったんだろ。うか。八木沢さんは保育士を辞めようと思いついたが、保護者の声に支えられ保育園再開のために汗を流そうと決めた。亡くなった子どもや親の分まで、自分でできることを精いっぱいやるつもりだ。」

今、国会で審議入りしようとしている「税と社会保障の一体改革」が気になるところです。内閣府を中心に、幼保一体化を含む「子ども・子育て新システム」もその中に盛り込まれています。そのことをこの紙面に書くつもりで準備していましたが、泥沼状態の政局の下ではどうなるか先行きが見えません。それよりも今回の記事のご紹介が先と思ふこのよう紙面になりました。

ここでは是非皆様に読んでいただきたい岩手日報の記事をご紹介します。

「怖い、怖い」と泣きじゃくる園児ら。覚悟を決めた。園児三十人を散歩用の台車に乗せて車道を駆け上り約三百メートル先の山のふもとへ。近くのスーパードイツから三十人も避難していた。さらに津波が迫ってきた。もう考えているひまはなかつた。目の前には三十度を超え

別のある報道では、被災を受けた認可保育園で保育中の園児の死亡は皆無であったというところも聞き及んでいます。このような緊急時に冷静な判断力と強い決断力をもって必死の避難誘導をした

このように緊急時に冷静な判断力と強い決断力をもって必死の避難誘導をした



平成16年度、17年度に父母の会長を務めさせて頂きました伊集院と申します。この度の東日本大震災の被災状況を見ておられますと、同じ世代の子を持つ親として胸が締め付けられる思いです。被災された皆様が一日も早く元の生活に戻り、ご家族が笑顔で溢れることを心よりお祈りいたします。

この親としてのスタートを助けて頂いたつばみ保育園が平成26年度で創立50周年を迎えられます。お世話になったその恩返しと言つては大袈裟ですが、「創立50周年記念事業」を行うべく、去る平成23年3月11日に平成7年以降の歴代会長様に「ご参集頂き、どのように進めてい

生活と遊びのさらなる充実にむけて 昨年の7月より始まった増改築工事も3月末に完成しました。増築に伴い園児数を30名増員し定員を250名としました。この素晴らしい生活環境と遊びの環境を十分に生かし、楽しい遊びが繰り広げられ子ども達も職員もわくわくしています。

もの思いを受け止め、大人の願いを伝え、目には見えない心の育ちにつかり関わっていきたく思います。子どもと一緒に楽しみ、喜び、悲しみ、いつも優しさと笑いに満ち溢れた保育園になるよう職員一同取り組んでいきたいと思ひます。



創立50周年記念事業検討が始まる 創立五十周年記念事業 実行委員長 伊集院直親 しました。今後、その頂いた助言を基に、以降の歴代会長で検討、準備を進めていくこととなります。多岐に亘る課題があり、いつ、どこで、どのように、役割分担は等々決めていかねばならないことは多々ありますが、より良い記念事業とすべく検討を進めて参りたいと思っております。皆様のお力添えが必要になることが数多くあるかと思ひますが、その節は宜しくお願ひいたします。

乳幼児期は大人からの一方的な指導や知育教材で特定の技能や知識の習得ではなく、毎日同じように繰り返され安心して過ごせる日々の生活と豊かな遊びの直接的な体験を通して総合的に発達していく時期だと思ひます。主体的な遊びを通して、いろいろなことをやろうとする意欲を持ち、達成感や満足感を味わい、それが自信となり子ども自ら様々な能力を獲得していきます。そして、そこには楽しさを共有する保育士やお友だちがいることも欠かせないことです。

子どもの一人ひとりを丁寧に見守り、心の動きにしっかり目を向け、子ども

平成二十三年度 行事 4月2日 新年度説明会 5日 おたのしみ会 21日 親子歓迎遠足 23日 園児健康診断(3日間) 5月10日 端午の節句おたのしみ会 14日 年長組親子保育 クラス懇談会 14日 父母の会総会 年少組親子保育 クラス懇談会 6月4日 影絵劇場(一般公開) おたのしみ会 6月16日 歯科健診 7月2日 保護者ボランティア活動 7月7日 ブルおたのしみ会 7月13日 プール開き 8月15日 お泊まり保育(青組) 8月25日 おたのしみ会 9月17日 運動会 9月29日 おたのしみ会 10月13日 おたのしみ会 10月27日 敬老の集い 11月12日 園児健康診断(3日間) 11月17日 友愛セール 11月22日 おたのしみ会 12月11日 リトミック発表会 12月26日 おたのしみ会 於 そびあしんぐう 作品展 1月17日 もちつき 1月22日 おたのしみ会 2月3日 まめまき 2月19日 年少発表会 3月4日 年長発表会 3月9日 桃の節句おたのしみ会 3月25日 遠足(年長) 3月29日 遠足(年少) 卒園式 入園式(新園児)

法人のシンボルマーク THREE PAIRS カバ・ゴリラ・カンガルーの三対の動物の親子「スリー・ペアーズ」が、社会福祉法人 輔仁会のシンボルマークに決まりました。それぞれの動物の本能的な親子愛を表しており、子どもがどこにいるか探してみても楽しい図案です。つばみ保育園をはじめ法人の各保育園の入口にはモニメントが設置され、親子の登降園の様子を守っています。

## 「時を越えて」

父母の会 会長 檜川信五 平成22年度、23年度つばみ保育園父母の会会長をさせて頂いております。先代の熊谷会長の熱き思いを引き継ぎ、『仕事あつての、家庭あつての、子供あつての父母の会』をモットーに役員・会員がそれぞれ、少しの力と少しの時間と少しの知恵を合わせて、大きな力とし、行事を通じ園に恩返しのできれば活動をさせて頂いておられます。また、今年度は二度と帰ってこない『つばみ保育園時代』の楽しみを、一人でも多くの方々と共有できるよう年間を通じて取り組んでいこうと考えております。「もう少し投げかけた、球児のような心境」と語った、父母の会を勇退される時の前会長の思いを引き継ぎ、今、この時代を、子供たち、先生方、地域の方々と一緒になり楽しみたいと思ひます。



そして、次代へ引き渡していけたらと思ひます。つばみ保育園父母の会は、昭和40年に『母の会』として生まれ、昭和47年には父親の参加とともに『父母の会』となったそうです。「何かできることはないか、園に協力できないか」という当時の思いは、『時を越えて』46年間、引き継がれ現在に至っています。延べ卒園児は2000人を超え、歴史あるつばみ保育園に今、たずさわらせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。30周年記念には『宮太鼓』を、40周年記念には『ログハウス』を先代の皆様から残していただき、子供たちは「青組さんになったらつばみ太鼓を！」と楽しみにし、園庭では元気良くログハウスで遊んでいます。先代の皆様の思いを引き継ぎ、役員・会員一同、力を合わせ『全力投球』で頑張りますので、今後とも宜しくお願ひ致します。

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes dates from 3月29日 to 12月11日 and events like 卒園式, 入園式, 運動会, etc.

# つぼみ 新園舎竣工!

今回は、新しくなった園舎や園庭などを紹介します。



■玄関付近・飾り棚  
玄関を入ると全園児の靴箱が並び、上段は保護者用です。靴箱の上の間接照明が優しく照らしています。掲示板横にある飾り棚は、毎月職員が交代で制作した物を展示しています。23年度は絵本を題材として制作しています。「はりとぐらがいるよ」「そらまめくんと寝ているのかな」など、親子の会話が弾んでいます。海水魚を入れた水槽も置かれ、クマノミなど子どもたちの人気です。



■ダムウエーター  
給食を二階に運ぶダムウエーター、給食の準備が整うと給食室から食器や主食、副食、お茶などを乗せたワゴンが一階のダムウエーターに乗せられ、二階にあげられます。二階では到着した給食を担任が受け取り、各部屋で配膳をします。

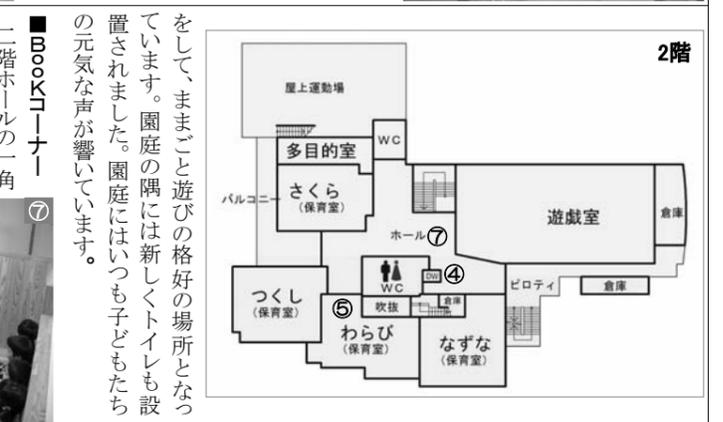


■保育室  
年長組(3・4・5才児)の保育室が新しくなりました。入り口の戸には丸い窓がついていて、保育室の中が楽しそうな様子がかいま見られます。部屋の中には二階建ての「小さなお部屋」があり、子どもたちのお気に入りの遊び場です。梯子でのぼり、降りるときはすべり棒を使います。一階では「ままごと」やお部屋屋さん「ごっこ」などで遊んでいます。床は木の板を使用し、熱サイフォン式床暖房で、お湯が通るパイプのまわりに風化珊瑚の粉末が敷き詰められています。風化珊瑚を敷き詰めることにより、保温効果が高く殺菌・抗菌効果もあります。陽当たりもよく明るい保育室です。

■園庭  
築山には、以前のどんぐり山にあつたどんぐりの木が植えられ、子どもたちを見守っています。築山の裾ではあちらこちらに穴が掘られ、水を流し込んで、泥んこあそびが繰り返されています。築山の横にある昔のジャングルジムを利用した遊具には、すべり台や壁のぼり、のぼり棒などが設置されていて、全身を十分に遊んでいます。



■Bookコーナー  
二階ホールの一角にBookコーナーができました。コーナーの内側にはベンチがあり、お迎え時など親子で座ってゆっくりと絵本のページをめくる姿を見かけることも…。Bookコーナーの床は床暖房ですので、冬場も暖かいなかで、読み聞かせを楽しめることができます。保育中はもちろん、保護者の皆様にも大いに利用していただけたらと思います。



■屋上やさい畑  
園庭から外階段を登って行くと屋上に畑があります。職員と一緒に青組(5才児)の子どもたちが中心となり種まきや苗植えをし、水やりを毎日交代で行っています。今は、とまと・なす・きゅうり・にんじん・ねぎ・さつまいもなどが育っています。自分たちが世話した野菜が育つのを目の当たりにし、収穫などを通して「食べよう」という意欲がでるよう、苦手の野菜も少しずつ食べています。代々青組の子どもたちに引き継がれている土づくり(給食室から出る野菜くずと米ぬかを混ぜ、元気な土をつくる)もこの屋上やさい畑で毎週金曜日に行っています。



※ 図面中の番号と写真の番号を照らし合わせてご覧ください



【 資金収支計算書 】		
経常活動による収支	運営費収入	202,450
	利用料収入	6,973
	その他の経常活動収入	49,168
	経常収入計 (1)	258,591
	人件費支出	147,348
	事務費支出	36,540
	事業費支出	28,266
	その他の経常活動支出	7,115
	経常支出計 (2)	219,269
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	39,322
施設整備等による収支	施設整備等収入計 (4)	141,687
	施設整備等支出計 (5)	196,115
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲54,428
財務活動等による収支	財務収入計 (7)	45,000
	財務支出計 (8)	33,000
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	12,000
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	▲3,106	
前期末支払資金残高 (11)	18,173	
当期末支払資金残高(10)+(11)	15,067	

資産	流動資産	104,516
	固定資産	367,477
資産の合計		471,993
負債	流動負債	89,449
	固定負債	3,795
	小計	93,244
純資産	基本金	43,103
	国庫補助金等特別積立金	176,025
	その他の積立金	69,500
	次期繰越活動収支差額	90,121
	小計	378,749
負債及び純資産の合計		471,993

理事長	大浦 純平
園長	大久保 雅子
つぼみ保育園	
主任	田村 明子
副主任	小島 千枝
もも組	宮川 京子
	阿部 香澄
	林 郁子
	清水 淳子
	越治 和代
	川口 ますみ
	永末 映里
	小澤 貴志子
うめ組	白井 顕子
	幾度 良恵
	松本 達則
	芦原 夏江
	小西 真弓
	光安 佑佳
	藤井 由美子
	小山 せり香
さくら組	猿渡 健一
	浦川 華奈美
	大野 歩
	野口 希世
	永尾 弘子
すみれ組	三坂 法子
	小田 晃子
	中岡 千晶
	(産休中)
れんげ組	原田 彩
つくし組	西 紘美
年長フリー	田島 さおり
わらび組	小田 彩佳
なす組	高松 明美
栄養士	岩崎 真樹
	福島 千春
調理員	河津 和美
	岡崎 千代
	荒木 亜希子
	英原 さやか
用務員	中島 涼子
延長専任保育士助手	大神 華織
	姫野 恵

会長	榎川 信五 (わらび)
副会長	河津 竜司 (なすな)
	松藤 恵子 (つくし)
会計	瀧原 西 (わらび)
	嶋津 真由美 (わらび)
書記	木下 貴文 (わらび)
委員	長田 裕子 (もも)
	喜多 正貴 (もも)
	友杉 貴茂 (うめ)
	田川 健司 (うめ)
	松崎 征子 (うめ)
	竹内 麻子 (さくら)
	山崎 ひとみ (さくら)
	西野 武文 (すみれ)
	小嶋 美紀 (すみれ)
	山内 圭 (れんげ)
	江隈 博昭 (れんげ)
	洪田 美保 (れんげ)
	國 重則 (つくし)
	劉 建宏 (つくし)
	池 孝民 (なすな)
	安永 奈津代 (なすな)
監査	梅木 孝 (すみれ)
	西元 さな江 (つくし)
第2つぼみ保育園(分園)	
主任	三笠 良子
副主任	大浦 佳子
保育士	吉崎 仁美
	村山 祐美
	岡崎 久美子
	野田 美和子
	阿部 俊子
	野中 智子
	伊藤 満子
管理栄養士	大久保 奈緒
延長専任保育士助手	中嶋 咲紀子

## 寄せられた意見・要望 (社会福祉法の公表義務付けに準拠)

受付年月	申出者	受付内容	解決結果
H. 22. 7	近隣 女性	近隣の方から増改築工事が始まり杭打ち作業が行われたが風があり埃が飛んできた。建築業者に住宅地の中での工事なので近隣に対して、防音や埃対策など最低のことはしてほしいと電話がある。	迷惑をかけたことを謝罪し、近隣の方に迷惑をかけないように工事を進めてもらうように(株)黒木の現場監督に話をした。
H. 22. 9	園児 家族	福岡市保育所指導課へ園児の家族の方より苦情の電話があったと連絡がある。 ・3才以上児の主食提供費が1ヶ月1,400円は高い。 ・1才児の食事で1つの食器の中にご飯とおかずが一緒に入っているが混ざらないのか、食器の数を減らし、洗う手間など手抜きをしているのではないかと。	指導課としては、主食代は園によって考え方が色々あるので一律に〇〇円とは言えないこと。1歳児の食器をワンプレートを使い一緒に盛っていることも園としての考えがあつて使っているため直接園に相談してくださいと話したので問い合わせがあると思いますと電話があつた。保護者に3才以上児の主食提供費は1,400円、1才児の食器がワンプレートを使用している理由など話を理解していただいていると思っていたが不十分だったことを反省する。その後、園の方へは問い合わせはなかった。
H. 22. 4	近隣 男性	給食運搬車(軽自動車)が分園の前の分園敷地内に駐車しているが契約駐車場に止めるべきではないかと電話がある。	給食運搬車を一旦、厨房入り口に止め、給食を厨房に搬入したらすぐにマンションの契約駐車場に移動し駐車してもらうようにした。
H. 22. 10	近隣	保護者が送迎用の時、歩道に駐車しているので迷惑である。園として直ちに対策をとってほしいと電話がある。	駐車される時は歩道にかけないように分園敷地内に止めてもらうように保護者の方一人ひとりに説明をした。